

# メガFTAの潮流

日本経済学会連合

## 第2回

企業による国際生産ネットワークの拡大とサプライチェーンのグローバル化により、これまでの枠を超えた新たな通商ルールが求められている。ドーハ・ラウンド交渉が停滞する中、そのルールづくりの主役は今やWTO(世界貿易機関)ではない。TPP(環太平洋パートナーシップ)の妥結によって世界貿易体制はどのように変容していくのか。メガFTA(自由貿易協定)がもたらす新たな通商秩序とWTOの将来を展望する。

# アカデミック・フォーラム ポストTPPと世界貿易体制の行方

## プログラム

総合司会 馬田 啓一 (日本国際経済学会常任理事・杏林大学名誉教授)

- 13:00~13:10 挨拶 江夏 健一  
(日本経済学会連合理事長・早稲田大学名誉教授)
- 13:10~13:30 開題 浦田 秀次郎  
(日本国際経済学会常任理事・早稲田大学大学院教授)
- 13:30~14:15 講演 「TPPとアジア太平洋の通商秩序」  
木村福成(日本国際経済学会元会長・慶應義塾大学教授)
- 14:30~15:15 講演 「ASEAN 経済共同体の現状と課題」  
清水一史(アジア政経学会理事・九州大学大学院教授)
- 15:15~16:00 講演 「メガFTAの将来とWTOの影響」  
岩田伸人(日本貿易学会元会長・青山学院大学教授)
- 16:15~17:45 パネルディスカッション  
●モデレーター／浦田秀次郎  
●パネリスト／講演者3名(木村福成、清水一史、岩田伸人)
- 18:00~19:30 懇親会  
高田牧舎(早稲田大学南門前)一般:4,000円 加盟学会会員:3,000円

(敬称略)

2016年

日時

10/1 土

13:00~17:45(開場12:30)

会場

早稲田大学11号館  
4階大会議室

入場  
無料

事前のお申し込みが必要です。  
日本経済学会連合WEBサイトを  
ご覧ください。

<http://www.gakkairengo.jp/>

